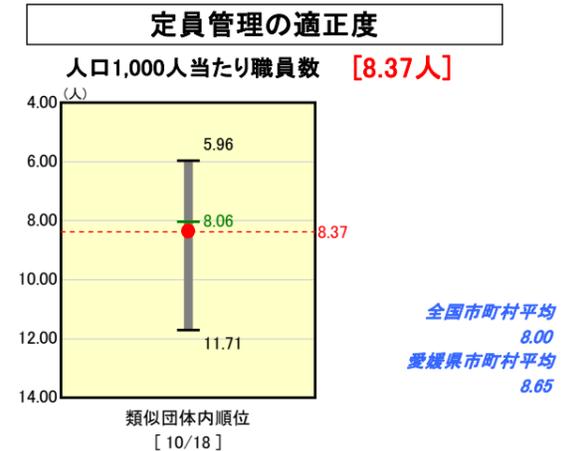
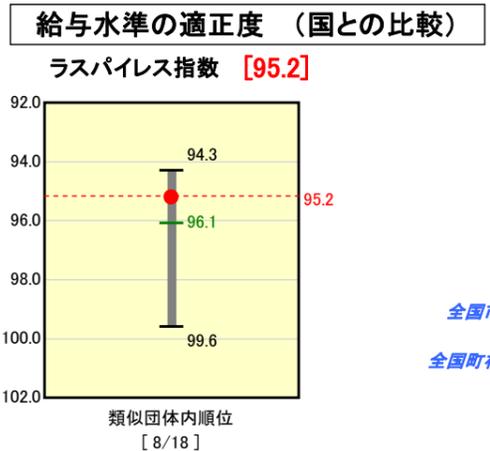
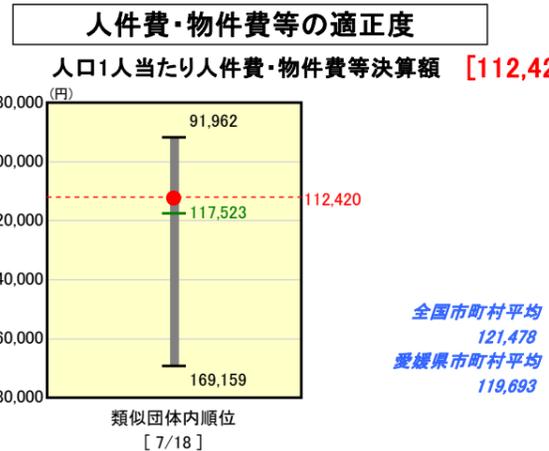
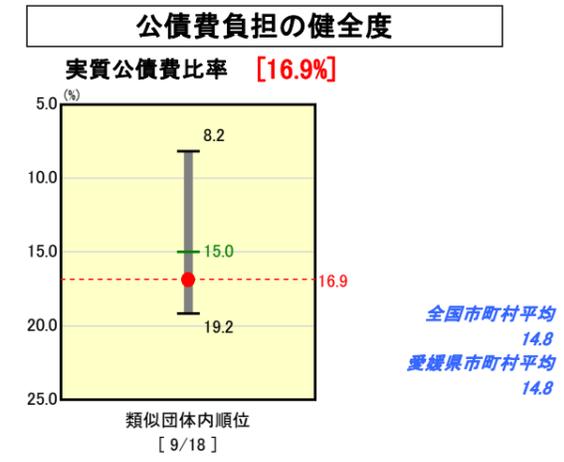
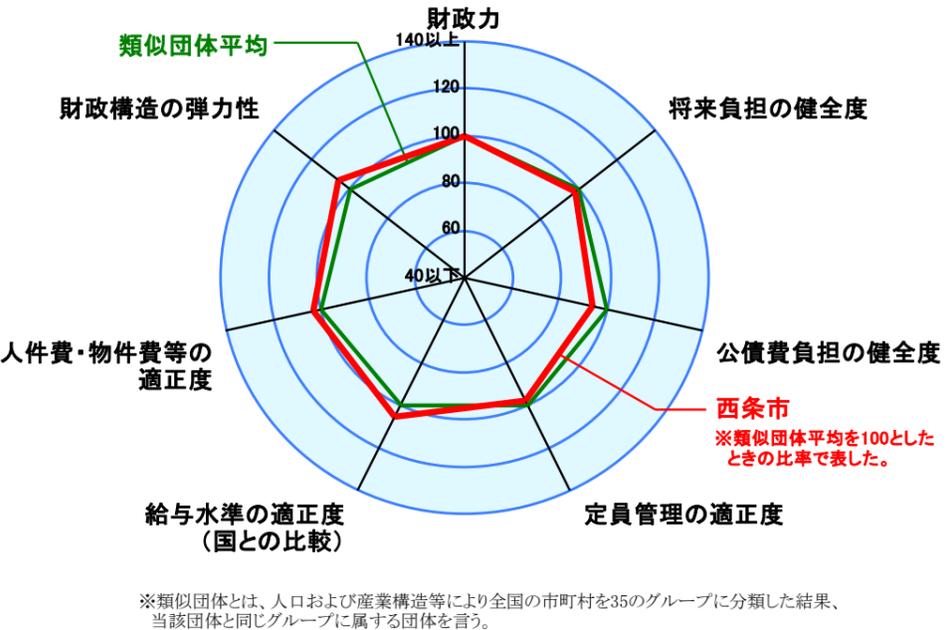
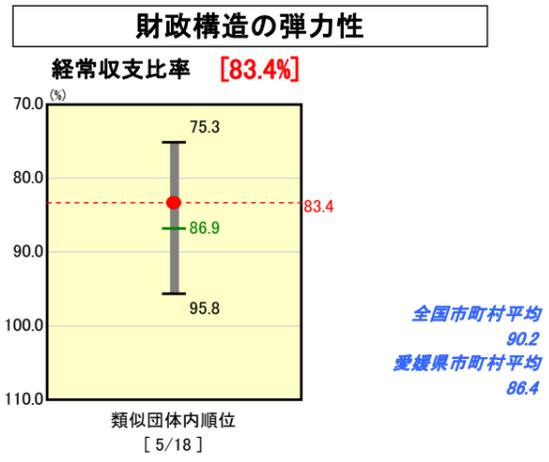
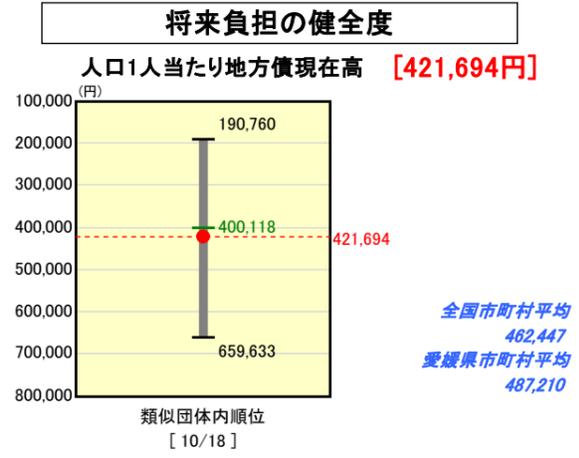
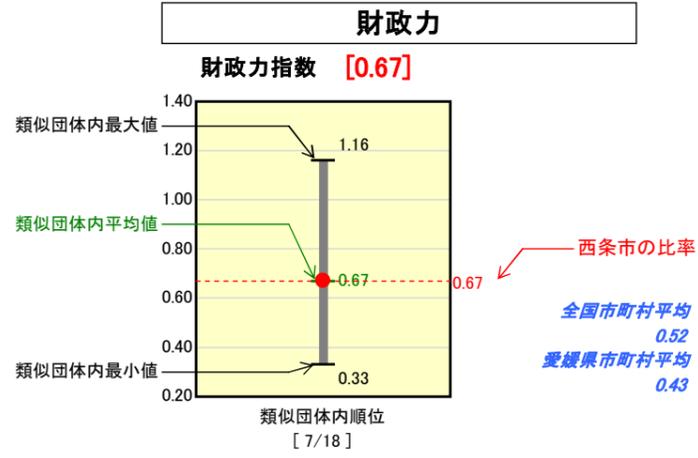


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

愛媛県 西条市

人口	116,194 人(H18.3.31現在)
面積	509.04 km ²
歳入総額	42,825,572 千円
歳出総額	41,122,619 千円
実質収支	1,570,253 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
全国及び県内市町村平均値を上回る財政力にあり、類似団体平均値にある。また、対前年度比においても0.01ポイント改善しており、引き続き産業振興を推進し、市税収入等の自主財源確保に努め、財政基盤を強化する。

【経常収支比率】
全国、県内市町及び類似団体平均値よりも良い状況にあり、対前年比でも3.1ポイント改善している。今後とも市税などの一般財源の確保や経常的経費の圧縮を図り、財政構造の改善に努める。

【人件費・物件費等の適正度】
全国、県内市町及び類似団体平均よりも低額である。平成17年度は、合併に伴う議員数及び職員数の減少が人件費の削減につながり、前年度より約15,000円の減となっている。

【人口1人当たり地方債現在高】
全国及び県内市町村平均額より低く抑えられているが、類似団体平均額より高額である。対前年比においても約7,000円減少している。今後とも重要かつ緊急度の高い施策の選択等、適債事業を厳選することにより、借入額の抑制を図る。

【実質公債費比率】
全国、県内市町及び類似団体平均値の何れと比較しても悪い状況にある。今後とも後年度に交付税措置等のある起債を厳選して活用するとともに、新規発行の起債の抑制に努める。

【ラスパイレース指数】
全国市平均及び類似団体平均より低く抑えられているが、今後とも、給与制度改革等も踏まえ、より一層の給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たりの職員数】
合併により全国市町村及び類似団体平均を上回っているが、平成17年4月に策定した定員適正化計画(計画期間:平成17年度～平成21年度)に基づき、5年間で100人(7.1%)を目標に職員数を削減する等、より適切な定員管理に努める。